

## ◇ 平成 29 年度公衆衛生部会通常総会・研修会の開催

平成 29 年度通常総会を平成 29 年 10 月 21 日（土）にラマダホテル新潟で開催し、会員 33 名が出席しました。大澤部会長の挨拶の後、議事に入り、平成 28 年度事業経過報告及び決算報告が審議され原案通り承認されました。

総会に引きつづき研修会を開催し、第 1 部は日本野鳥の会 評議員の石部久先生から「鳥類の世界 鳥の生態と繁殖婚姻形態の多様性」について、多くの美しい野鳥の写真を交えてお話し頂きました。私たちが生活する市街地やその周辺に、フクロウ類の生息分布があることや、くちばしの形態により餌が決まることで生息環境が決まり、鳥の生き方が決められていくことなど、大変興味深い内容で、野鳥に関する知識を深めるよい機会となりました。同時に、近年の温暖化による環境の変化は野鳥の生息にも関係する重大なことであり、我々への警鐘であると知りました。

第 2 部では、岐阜県飛騨家畜保健衛生所の松尾加代子先生から「ジビエに潜む寄生虫リスク」について、ご講演いただきました。最近、と畜検査ではあまり発生がみられなくなった肝蛭が野生動物間で維持されており、飼育環境によっては家畜に肝蛭が感染するリスクが高まることや、35 年ぶりに国内で集団発生した旋毛虫（トリヒナ）症は、冷凍処理でも死滅しない北方系の旋毛虫である可能性が高いことなど、貴重な写真や動画を交えてお話しをいただきました。さらに草食性のシカがサワガニを食べていたというお話聞き、固定観念を打ち砕かれました。また、ジビエの先進地である岐阜県での人材育成の取組や解体施設のご紹介など、参加した会員からは今後の参考となる大変良いお話だったという感想が多く聞かれました。

今年度は、日本獣医師会が主催する獣医公衆衛生講習会（中部地区）の公開講座として開催しましたが、会員の他に、小動物臨床の獣医師や日本野鳥の会新潟県の会員などの参加者を含めて 61 名の出席があり、盛況のうちに終了いたしました。



受講の様子



日本野鳥の会  
評議員 石部久先生



岐阜県飛騨家畜保健衛生所  
松尾加代子先生